

編集後記

2020年度春学期は、いつもと違う始まりかたをした。通常なら4月のはじめに新入生が登校し、若者たちの活気ある雰囲気がキャンパスにあふれるのだが、今年度は全く違った光景になった。4月になっても校舎に人の気配はなく、閑散としていた。また5月に入っても依然として、校舎に人影はほとんどなかった。授業が5月11日(月)から開始されたが、大学に学生の姿はなかった。オンライン上で授業をすることになったので、私はオンラインで授業をするのに必要な教材を作り始めたが、要領のわからないことも多く、愛知大学の遠隔実施ワーキンググループに何度も相談をした。そこで改めて思ったのは、情報伝達型の授業はいかにその情報をわかりやすく学生に伝えるのかを工夫することが大切だが、それとは対照的に思考追究型の授業は議論の対象となる教材を用意するだけではなく、いかに学生の思考を活性化するのが重要になるということだ。オンライン上では、ある問題に対して学生に発言をしてもらい、議論を深めるのはかなり難しいと感じたが、もっといろいろと工夫する余地があるのではないかとも思った。未知のウイルスによる脅威が大学の教育に多大な影響を与えている現状は、いつまで続くのか誰にも予想はできないが、大学のもう一つの重要な使命である教員の研究活動については、ウイルスによって萎縮するような事態にならないようにしたい。(塚本鋭司)

文明21 愛知大学国際コミュニケーション学会紀要

※愛知大学国際コミュニケーション学会発行の『文明21』に掲載された論文などすべての著作権は、愛知大学国際コミュニケーション学会に所属します。

2020年12月15日 印刷
2020年12月20日 発行 第45号

編集発行 愛知大学国際コミュニケーション学会
〒453-8777 名古屋市中村区平池町四丁目60番6
TEL (052) 564-6128 FAX (052) 564-6228
E-mail: aic@vega.aichi-u.ac.jp URL: <http://ic.aichi-u.ac.jp/>

印刷所 株式会社あるむ